

2018 年 5 月 14 日
山田光太郎
kotaro@math.titech.ac.jp

微分積分学第一講義資料 9

お知らせ

- 本日は中間試験予告をいたします（別紙）。欠席者は、講義 web ページ・OCW を参照してください。
- 締切までにご意見がなかったため、定期試験日程を **6 月 7 日（木曜日）10:45–12:15** に変更します。

前回までの訂正

-

授業に関する御意見

- マイクの音量をもう少しあげてほしいです。
山田のコメント：微妙なところでハウリングを起こすのですが、どうでしょう。

質問と回答

11 日の講義資料作成に間に合わなかった質問と回答。ポストに残っていたものか、期限に遅れたのかは不明。

質問 1: $f(x(t), y(t))$ という書き方について、 $()$ をカッコでくくるときに $\{ \}$ にするように習ったのですが？

お答え: その記法はあまり使わないようです。たとえば、集合の記号 $\{ \}$ は中にカッコがあるかどうかとは関係なく中括弧 braces を使います。関数記号 $f(*)$ や $x(*)$ は小括弧 parentheses を用い、中に何があろうが記号を変えないのが普通だと思います。

質問 2: P37 の $x \cdot y = {}^t xy$ の部分の意味がわかりません。

お答え: 右辺は列ベクトル x を転置して得られる行ベクトルと列ベクトルをかけることによって得られる数。これが x と y の内積になる、ということ。邪念を払って読めばそれ以外の意味には読めないはず。